

「地域密着型金融」の取組み状況

平成31年4月～令和2年3月

高崎信用金庫

「地域密着型金融」の取組み状況（平成31年4月～令和2年3月）

当金庫では、令和元年度の重点課題である「支援力・営業力の深化×進化(しんか)」に向けて、重点施策の一つに「地域密着型金融・課題解決型金融の推進」を掲げ、以下の各施策を実践してまいりました。これからも、これらの取組みを通じて、地域において利用しやすい金融機関をめざすとともに、地域経済、地域社会の活性化に向け、地域金融機関としての社会的使命を果たしていく方針です。

- 創業支援の取組強化
- 本業支援の取組強化
- 経営改善・事業再生支援の取組強化
- 事業承継支援の取組強化
- 地域活性化に向けた取組強化
- 事業性評価の取組強化
- 顧客階層・顧客ニーズに応じた商品・サービスの充実
- 地域や利用者に対する積極的な情報発信

重点施策	具体的な取組み状況	成果(実績)
○創業支援の取組強化 (顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮)	<ul style="list-style-type: none"> ・高崎商工会議所との連携を強化するとともに、創業希望者が創業計画書を作成する際のアドバイスや、創業後間もない方々へのフォロー訪問を実施するなどの創業支援に取り組みました。 ・高崎市における創業率の向上を目指すことで地域を活性化させるため、高崎市、高崎商工会議所、およびデロイトトーマツベンチャーサポート株式会社と連携し、「高崎モーニングピッチ」を令和元年度は全3回開催しました。 ・当金庫と日本政策金融公庫が主催、高崎市と高崎商工会議所が共催で「飲食店創業セミナー」を開催しました。 ・上毛新聞社主催の「群馬イノベーションアワード2019」にフィナンシャルサポーターとして協賛しました。 ・高崎商工会議所主催の「創業塾」に後援しました。 ・一般社団法人群馬ニュービジネス協議会等主催の「第5回群馬ベンチャーサミット」に後援しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業・新事業支援先数 40先

重点施策	具体的な取組み状況	成果(実績)
<p>○ 本業支援の取組強化 (顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 営業店長自ら率先垂範の上、自店の融資取引先および見込み先を効果的に訪問し、深耕開拓、実績把握、経営支援に取り組み、付加価値の高い提案・営業活動を実践しました。 ・ お取引先企業や住宅ローン利用者の皆さまからの資金繰り安定要請に応えるため、平成21年11月より出張所を除く営業店窓口を設置した「特別相談窓口」を令和元年度も継続して設置し、新規融資のみならず、貸出金の返済条件緩和などのご要望や創業に関するご相談などにも柔軟に対応しました。 ・ 台風19号の被害に遭われたお客さまの事業資金全般に関するご相談や、生活再建に関するご相談に応じるため、営業店やたかしん相談プラザに相談窓口を設置しました。(令和元年10月15日～) ・ 新型コロナウイルス感染拡大により、影響を受けているお客さまの資金繰り全般に関するご相談に応じるため、営業店やたかしん相談プラザに相談窓口を設置しました。(令和2年2月3日～) ・ 事業者の皆さまが抱えるさまざまな課題に対して、共に向き合い、解決に向けた手法を考えるために「事業サポート相談申込書」を活用して、課題解決に向けたサポートを行いました。 ・ 販路拡大や業務委託、工事の受注等、企業間のビジネスニーズのマッチングに積極的に取り組みました。 ・ 群馬県産業支援機構および一般社団法人群馬県中小企業診断士協会の協力のもと、「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」に関する個別相談会を全3日間開催しました。 ・ 新入・若手社員を対象に、社会人としての基礎を学んでいただく「新入若手社員研修」を開催し、39名の参加がありました。(平成31年4月24日) ・ たかしん新世紀クラブ講演会「タニタで学んだ成功法則」を開催し、53名の参加がありました。 講師：ヘルスケアオンライン株式会社 代表取締役 谷田昭吾氏(令和元年6月12日) ・ たかしん新世紀クラブ・高信経友会合同講演会「地域から日本を変える！これからの企業のあり方」を開催し、58名の参加がありました。講師：フリーキャスター・大学客員教授 伊藤聡子氏(令和元年11月22日) ・ 「令和2年度中小企業支援施策セミナー」を開催し、47名の参加がありました。(令和2年2月17日) ・ 「人材確保」に関するさまざまな課題を抱える中小企業をサポートするため、人材サービス会社3社(ヒューレックス株式会社、株式会社パソナ、パーソルホールディングス株式会社)と業務提携契約を締結し、令和2年2月26日より取引先企業へ「人材採用」や「人材派遣」サービスの紹介を開始しました。 ・ 後継者問題を抱える取引先企業等への事業承継支援を一層強化するため、群馬銀行、桐生信用金庫、しのめ信用金庫と「M&Aに係る業務提携契約」を締結しました。(令和2年3月31日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業サポート相談申込み 403件 ・ ビジネスマッチング 実績 15件 ・ 認定支援機関として補助金申請をサポート 採択実績 2件
<p>○ 経営改善・事業再生支援の取組強化 (顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般社団法人群馬県中小企業診断士協会や株式会社船井総合研究所との連携による「たかしん1日巡回経営相談サービス」を実施しました。 ・ 令和元年度は136先(正常先1先を含む)を経営改善支援先に選定し、支援活動に取り組みました。 ランクアップ率 <定義> ランクアップ先数9先 ÷ 経営改善支援取組み先数136先 経営改善支援取組み率 (正常先を除く) <定義> 経営改善支援取組み先数135先 ÷ 期初債務者数692先 再生計画策定率 <定義> 再生計画策定先数71先 ÷ 経営改善支援取組み先数136先 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1日巡回経営相談サービス 実施先数 I型 130先 II型 7件 ・ ランクアップ先数 9先 ランクアップ率 6.6% 経営改善支援取組率 19.5% 再生計画策定率 52.2%

重点施策	具体的な取り組み状況	成果(実績)
<p>○ 事業承継支援の取組強化 (顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「事業承継ヒアリングシート」を活用し、質問に回答していただくことを通じて、事業承継に向けた準備状況の確認を行うほか、未着手の場合には事業承継計画の策定支援を行うなど、早期の事業承継に向けた支援を行いました。 ・群馬県事業引継ぎ支援センター等の専門機関との連携を強化し、国や地方公共団体等の事業承継支援制度を積極的に活用するなど、中小企業・小規模事業者の円滑な事業承継に向けて、さまざまな支援に取り組みました。 ・「事業承継セミナー」を2部構成で開催しました。セミナーでは経営者に事業承継の重要性やポイント等についてわかりやすく説明し、「親族承継」と「従業員承継」をテーマとした第1部に37名、「第三者承継(M&A)」をテーマとした第2部に16名の参加がありました。(令和元年11月6日) 	
<p>○ 地域活性化に向けた取組強化 (地域の面的再生への積極的な参画)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・両者が有する人的・物的資源を活用し、地方創生、地域経済の活性化および地域の持続的発展に寄与するため、高崎商工会議所と「包括的連携・協力に関する協定書」を締結しました。(平成31年4月19日) ・地域の未来を担う人材の育成と斬新なアイデアを新たなビジネスモデルとして活用し、地域の活性化に貢献することを目的に「たかしんビジネスプランコンテスト2019」を開催しました。 ・上野三碑ロゴマークの役職員の名刺への印刷や、各店におけるのぼり旗設置など、官民一体となって進めている上野三碑普及推進事業への支援に、継続して取り組みました。 ・認知症への正しい理解を促進する活動に継続して取り組み、認知症の人や家族を温かく見守り支援していくため、「認知症サポーター養成講座」を開催し、職員250名が受講しました。 講師：公益社団法人認知症の人と家族の会 群馬県支部 桑畑裕子氏(令和元年7月19日、8月28日、9月11日) ・少子化の大きな要因である未婚化・晩婚化への対応策として、群馬県が取り組んでいる「ぐんま結婚応援パスポート」事業に協賛し、住宅・自動車・個人ローンに「結婚応援特別優遇金利」を適用しました。 ・子育て家庭を応援するため、群馬県の子育て支援事業「ぐんまちょい得キッズパスポート事業」に協賛し、住宅・自動車・教育ローンに「子育て支援金利」を適用しました。 ・地域で働く子育て女性を応援するセミナー「第2回たかしんママサークル・子育て女性応援セミナー」を開催し、当金庫職員やお客さま29名の参加がありました。(令和元年10月25日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「結婚応援特別優遇金利」実績 自動車ローン 1件 1百万円 ・「子育て支援金利」実績 住宅ローン 7件 158百万円 自動車ローン 100件 182百万円 教育ローン 64件 185百万円
<p>○ 事業性評価の取組強化 (顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お取引先企業の事業の内容や成長可能性等を適切に評価し(事業性評価)、地域金融機関として、担保・保証に過度に依存することなく、資金の円滑な供給に努めました。 ・事業性評価の結果などにに基づき、経済産業省が作成した支援機関と企業との対話ツールである「ローカルベンチマーク」も活用し、お取引先企業の労働生産性向上などの経営改善支援に取り組みました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「事業性評価に基づく融資」実績 与信先数 299先 融資残高 22,435百万円

重点施策	具体的な取組み状況	成果(実績)
<p>○ 顧客階層・顧客ニーズに応じた商品・サービスの充実 (地域の面的再生への積極的な参画)</p>	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォン上で残高照会や入出金明細照会等が行える、「しんきんバンキングアプリサービス」の取扱いを開始しました。(平成31年4月22日～) 運転免許証を自主返納した高齢者をサポートし、生活しやすい環境づくりに貢献すべく、金利を優遇した定期預金「たかしん運転免許自主返納者サポート定期預金」の取扱いを開始しました。(令和元年8月1日～) お客さま本位の業務運営に関する取組方針に基づくセミナーを開催しました。 「資産運用セミナー」 講師：アライアンス・バーンスタイン株式会社 三橋雄二氏 参加29名(令和元年5月29日) 高齢化の進展に伴い、相続関連商品への関心が高まるなか、お客さまの円滑な相続・贈与のニーズへの対応を強化するため、信託契約代理業務における取扱い店舗を全営業店(出張所を除く)に拡大しました。(令和2年2月3日) 	
<p>○ 地域や利用者に対する積極的な情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ディスクロージャー誌やミニ・ディスクロージャー誌、ホームページ等を通じて、当金庫の経営内容や地域密着型金融の取組みなどに関する情報を積極的に発信しました。 地域のお取引先企業約500社のご協力のもと、「たかしん景況レポート」を四半期ごとに発行し、高崎地区の景気動向として地域の皆さまに情報提供しました。 	
<p>○ 上記重点施策以外の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今まで以上に広く地域社会のお役に立つ活動に取り組み、地域金融機関としての使命を果たすことでSDGsの達成に貢献すべく、「高崎信用金庫SDGs宣言」を制定しました。(令和元年8月1日) 当金庫では、持続可能な社会の形成に向けて、環境への負荷の軽減に継続的に取り組むため、平成30年4月1日に制定した「高崎信用金庫 環境方針」に基づき、環境活動に取り組んでいます。 <ul style="list-style-type: none"> 環境問題への取組みの一環として、毎年4月に、前年度にカードローン「たかしんエコきゃっする」をご契約いただいたお客さま1人につき100円を当金庫が拠出し、公益社団法人群馬県緑化推進委員会(緑の募金)に寄付しております。 環境に優しい通帳等の使用 <ul style="list-style-type: none"> 総合口座通帳、普通預金通帳、定期預金通帳および定期積金通帳には、製造過程にグリーン電力を、印刷時に植物油インキとFSCミックスの用紙を使用 現金封筒には、製造過程にグリーン電力を、印刷時に国産竹配合パルプ(竹紙)を使用 お客さまに粗品を進呈する際などに使用するサービス品袋の一部には、石油資源の節約とCO₂排出削減につながるサトウキビ由来の植物性プラスチックを使用 二酸化炭素を排出しない、環境にやさしい小型電気自動車を令和元年度末現在6台配備 5～9月はクール・ビズ、12～3月はウォーム・ビズを実施し、地球温暖化防止運動へ全役職員が取り組みました。 地域貢献活動の一環として、毎月1回、全営業店で店舗周辺の清掃活動に取り組み、地域の環境保全に努めました。 地域の受験生やそのご家庭を応援するため、受験料の払込みをされたお客さまに「合格祈願合格(五角鉛筆)」を進呈しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 寄付金額 4,400円 【参考】平成19年度～令和元年度 寄付金累計額 544,100円

重点施策	具体的な取組み状況	成果(実績)
○ 上記重点施策以外の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の犯罪を抑止・防止し、「明るく安全な街づくり」に向けて、全営業車（バイクも含む）に反射シートを装着し、地域防犯パトロールを実施しております。 ・ 地域の金融教育の向上に貢献するため、「夏休み子ども金融教室」を開催し、小学生とその保護者合計80名の参加がありました。本店内の見学やお金に関するクイズ、1億円の重さの体験など、楽しみながら「お金」について学んでいただきました。（令和元年8月1日） ・ 「第45回高崎まつり」に役職員309名が参加しました。また、「かき氷振る舞いイベント」を同時に実施し、6,000人を超えるお客さまへかき氷を無料配布しました。（令和元年8月3日、4日） ・ 金融業務に関心のある地域の学生に就業体験の機会を提供するため、短期大学生4名、高校生2名のインターンシップを受け入れました。信用金庫の役割や業務への理解を深めてもらうとともに、ビジネスマナーの習得、営業店での実習など、さまざまな体験をしていただきました。 ・ 青少年の健全育成を目的として、文化やスポーツ、教育の振興に資するため、高崎市（公益財団法人高崎財団）へ100万円を寄付しました。（令和2年3月5日） ・ 文化、芸術の振興を図るため、本店内のギャラリーにてさまざまな企画展を開催しました。 ・ 全店舗に設置したAED（自動体外式除細動器）の効果的な活用を図るため、高崎市等広域消防局の協力のもと、職員向けに「普通救命講習会」を開催しました。 令和元年9月17日 49名受講（これまでに延べ698名が受講） ・ 昨今多発している「キャッシュカード手交型詐欺」などの特殊詐欺被害を防止するために、年金支給日に合わせて全営業店で注意喚起の声掛けを実施するとともに、詐欺防止チラシなどを配布しました。 ・ 献血運動を実施し、延べ112名の役職員が参加しました。（令和元年6月18日、令和2年1月21日） なお、当金庫の献血運動への積極的な取り組みが高く評価され、令和元年度群馬県献血功労者等表彰式において、厚生労働大臣表彰を受賞しました。 ・ 「しんきん愛の募金活動」を行い、募金は一般社団法人群馬県信用金庫協会を通じて、上毛新聞「愛の募金」へ寄付しました。 ・ 「第7回榛名山ヒルクライムin高崎」に役職員44名が大会ボランティアとして参加しました。（令和元年5月18日、19日） ・ 「第29回ぐんまマラソン」に協賛するとともに、役職員41名が大会ボランティアとして参加しました。また、職員とその家族98名がランナーとしてマラソンに参加しました。（令和元年11月3日） 	